

## 精神看護学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 八木こずえ (看護福祉学部 co-yagi0913@hoku-iryo-u.ac.jp) 宮地普子 (看護福祉学部)  
中安隆志 (看護福祉学部) 鈴木和 (看護福祉学部) 佐々木敏明 (非常勤講師)

### 【概要】

人間のこころの健康と社会、こころの発達について学び、精神障害のある人々についての理解とともに看護の基本的考え方や態度について理解を深める。また、精神障害に関する疾病観や患者観の変遷を歴史的背景から展望し、彼らを取り巻く社会の現状や課題を学び、看護の役割と機能を学ぶ。

### 【学修目標】

1. 精神障害のある人と家族を理解するために必要な基本知識、および彼らを取り巻く社会と生活について説明できる。
2. 精神障害のある人に対する看護の考え方・理論・モデルを説明できる。
3. 精神保健・医療・福祉の歴史的経緯をふまえ、精神科医療・看護に関連する法制度について説明できる。
4. 様々な状況下における代表的なメンタルヘルスの現況や対策について説明できる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

八木こずえ (精神看護専門看護師)、宮地普子 (看護師)、中安隆志 (精神看護専門看護師)、  
鈴木和 (精神保健福祉士)、佐々木敏明 (精神保健福祉士)

### 【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院での看護師、精神看護専門看護師としての実務経験を活かし、実践的な教育を行う。  
精神保健福祉士としての実務経験に基づき講義を行う。